

達成度(評価)	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	嬉野市立大野原小中学校
-----	-------------

1 前年度 評価結果の概要	○全般的に見ると、昨年度の課題についての改善が図られ、評価が上がった項目が多かった。一方、学力向上に関しては、依然として課題が残っている項目もある。児童生徒の状況や実態を明確にした上で、校内研究、学力向上コーディネーター等の校務分掌上の役割分担を明確にした上で、全教職員の連携で改善を図っていく必要がある。また、家庭との連携を強化して、さらなる向上を目指したい。 ○校区体育大会、文化祭、餅つき等の行事を通して、児童生徒が地域住民とふれあう活動を継続して行うことができた。児童生徒が積極的に取り組み、表現力を高めたり、人と関わる力やコミュニケーション力を発揮したりする場とすることができた。一方、学校では行事の精選や効率化が求められている部分もある。新教育課程の編成を行っていく中で精査し、改善を図っていく。
------------------	---

2 学校教育目標	<b>かがやく大野原っ子の育成 ～人間性豊かで、自ら学ぶ児童生徒の育成～</b> (1) やる気いっぱい・・・確かな学力の定着と向上を図る。 (2) 笑顔いっぱい・・・思いやりの心、豊かな心を育てる。 (3) 元気いっぱい・・・元気で健やかな心身を育成する。 (4) わくわくどきどき(交流体験)いっぱい・・・地域愛に満ちた、豊かな人間性や社会性を育てる。
----------	--

3 本年度の重点目標	① 主体的・対話的で深い学びの実現へ向けた授業改善と家庭学習の充実による学力の定着 ② 困り感をもった児童生徒の理解と情報共有、計画に基づく支援の充実
------------	--

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価
---------------	------	--------

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言
				●学力の向上	●全職員共通理解に基づいた、学力対策評価シートの作成及び、共通実践 ○NIEを取り入れた授業や朝の活動、家庭学習の共通実践	●学力向上対策評価シート(マイプラン)の成果指標を達成した教師80%以上 ○「学習の見通しをもって授業に取り組む、自分の言葉で振り返りを行うことができていると思う」と回答した児童生徒80%以上 ○「新聞を見たり、読んだりすることが増え、新聞に親しむようになった」と回答した児童生徒80%以上	・教職員間でのマイプランの共有化 ・マイプラン進捗状況の把握と校内研修の実施 ・「授業づくりのステップ1・2・3 Vol.2」を踏まえ、全教科半分以上の授業で話し合う活動を設定 ・NIEを有効活用した授業・家庭学習の実践 ・主体的学びを目指した授業研究会の実施		
●心の教育	●道徳科の時間を要として、教育活動全体を通しての道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度の育成 ●いじめ予防・防止のための取組と早期発見、早期対応体制の充実	○道徳に関するアンケートにおいて肯定的な回答をした児童生徒80%以上 ○いじめ予防・防止のための研修・会議、組織的対応ができていると回答した教員80%以上	・年間計画をもとに「考える道徳」の授業実践 ・平和集会や人権集会の実施 ・保護者や地域、他校と連携した交流・体験活動の実施 ・いじめ予防(児童生徒理解含む)と対応についての研修・会議を年間に3回以上実施 ・いじめ防止、認知・覚知等について共通理解した上での組織的な対応						
●健康・体づくり	●望ましい生活習慣の形成 ●安全に関する資質・能力の育成	○「早寝早起き朝ご飯」、「食後の歯磨き」について肯定的な回答をした児童生徒80%以上 ○う歯がある児童生徒の歯科受診者80%以上 ○通学途中での、事故・事件0%	・発達段階に応じて、生活習慣についての自己評価(チェックカード等)の実施 ・保健だよりの発行 ・保護者への個別の連絡 ・歯科保健、ブラッシング指導の実施 ・登校班への日常的な指導の徹底 ・一人で下校させないための組織的対応 ・子ども110番の周知、マチコミメール活用と学童、PTA組織との連携の強化						
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減 ○職員の連携・協力による業務の効率化	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限の遵守 ○「効率化を意識して、業務の連携・協力を行っている」と回答した教員80%以上	・定時退勤日の設定 ・部活動休養日の設定 ・学校閉庁日の設定 ・ICTを活用した事務処理の効率化 ・小中の担当者による打合せと全体での共通理解 ・会議資料の確実な事前検討や配布と会議時間の遵守						

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言
				○地域愛を育み、表現力を伸ばす豊かな体験活動の充実	○大野原の一員としての自覚と地域貢献の心情や態度を育成する郊外でのボランティア活動 ・学校行事への招待や他校との交流によるコミュニケーション能力の向上と体験活動の充実	○「大野原のよいところを話せる」、「地域の人と触れ合うことが楽しい」と回答した児童生徒80%以上	・学校行事等で地域住民との交流や感謝の気持ちを伝える場の設定 ・他校との交流によるコミュニケーション能力の向上		
○大野原高原学園留通学制度の推進	○留通学に関する広報と、転入児童生徒を受け入れる体制づくり、環境整備	○「ここに来てよかった」と回答した転入生、その家族が80%以上	・ホームページ上での広報活動の拡大 ・保護者への啓発活動 ・児童生徒同士のコミュニケーション能力の向上を目指した活動の実施						

5 総合評価・次年度への展望	●・・・県共通 ○・・・学校独自 ◎・・・志を高める教育
----------------	------------------------------